





**コンタクトレンズ装用時の点眼について**

コンタクトレンズを装用したまま点眼すると、主成分や保存剤がレンズに吸着し、角膜障害を引き起こしたり、レンズが変色することがあります。特にソフトコンタクトレンズにおいては、防腐剤のレンズ内への貯留や蓄積の可能性から、点眼剤の使用は禁忌であるという考えが一般的です。しかし、添付文書上にコンタクトレンズ装用時の注意が明記されている薬品は多くありません。2016年4月6日現在の添付文書データに、コンタクトレンズ装用時の注意が記載されている薬品をピックアップしました。（※処方鑑査、疑義照会等の際には、最新の添付文書を確認して下さい。）

使用上の注意	製品名	有効成分	
<b>ソフトコンタクトレンズ</b>			
ソフトコンタクトレンズを装用したまま使用しない。	ヒアレイン点眼液0.1%、0.3%	精製ヒアルロン酸ナトリウム	
	アイケア点眼液0.1%、0.3%		
	ティアバランス点眼液0.1%、0.3%		
	ヒアルロン酸Na点眼液0.1%「わかもと」、「ニッテン」		
	ヒアルロン酸Na点眼液0.1%、0.3%「ファイザー」、「日新」、「杏林」、「TS」、「トーフ」		
	ヒアロサン点眼液0.1%、0.3%		
ヒアール点眼液0.1			
ベンザルコニウム塩化物がソフトコンタクトレンズに吸着されることがあるので、ソフトコンタクトレンズ装着時の点眼は避ける。	グラナテック点眼液0.4%	リバスジル塩酸塩水和物	
ベンザルコニウム塩化物がソフトコンタクトレンズに吸着されることがあるため、本剤投与時にコンタクトレンズを装用しない。	ネバナック懸濁性点眼液0.1%	ネバフェナク	
ベンザルコニウム塩化物がソフトコンタクトレンズに吸着されることがあるので、点眼時はコンタクトレンズをはずし、10分以上経過後装用する。	バタノール点眼液0.1%	オロパタジン塩酸塩	
ベンザルコニウム塩化物がソフトコンタクトレンズに吸着されることがあるので、コンタクトレンズを装着している場合は、点眼前に一旦レンズをはずし、十分な間隔をあけてから再度装着する。	タリムス点眼液0.1%	タクロリムス水和物	
ベンザルコニウム塩化物によりソフトコンタクトレンズを変色させることがあるので、ソフトコンタクトレンズを装用している場合は、点眼前にレンズを外し、点眼15分以上経過後に再装用する。	アゾルガ配合懸濁性点眼液	プリンゾラド/チモロールマレイン酸塩	
	エイゾト懸濁性点眼液1%	プリンゾラド	
	ザジテン点眼液0.05%	ケトチフェンマル酸塩	
	ケトチフェン点眼液0.05%「CH」、「SW」、「TOA」、「TYK」、「日医工」、「日新」		
	セキトン点眼液0.05%		
	スプテル点眼液0.05%		
	フザコール点眼液0.05%		
フマルトン点眼液0.05%			
ペナンザ点眼液0.05%			
マコチフェン点眼液0.05%			
本剤の有効成分がソフトコンタクトレンズに付着し、レンズが白濁すると報告がある。	オゼックス点眼液0.3%	トスフロキサシントシル酸塩水和物	
本剤の有効成分はソフトコンタクトレンズに吸着されることがあるので、目に違和感を感じたときは眼科医に相談すること。	トスフロ点眼液0.3%		
	ムコスタ点眼液UD2%	レバミピド	
<b>含水性ソフトコンタクトレンズ</b>			
含水性ソフトコンタクトレンズ装用時の点眼は避ける。	デタントール0.01%点眼液	ブナザシン塩酸塩	
本剤はベンザルコニウム塩化物を含有するため、含水性ソフトコンタクトレンズ装用時の点眼は避ける。	リボスチン点眼液0.025%	レボカバستن塩酸塩	
	レボカバستن塩酸塩点眼液0.025%「TOA」、「わかもと」、「三和」、「FFP」、「JG」、「KOG」、「TS」、「イセイ」、「サワイ」、「ファイザー」		
<b>コンタクトレンズ</b>			
ベンザルコニウム塩化物によりコンタクトレンズを変色させることがあるので、コンタクトレンズを装用している場合は、点眼前にレンズを外し、15分以上経過後に再装用する。	キサラン点眼液0.005%	ラタノプロスト	
	ラタノプロスト点眼液0.005%「AA」、「CH」、「NS」、「TOA」、「TS」、「TYK」、「わかもと」、「アメル」、「イセイ」、「キッセイ」、「ケミファ」、「サワイ」、「サンド」、「センジュ」、「タカタ」、「トーフ」、「ニットー」、「三和」、「日医工」、「杏林」、「科研」		
	ザラカム配合点眼液		ラタノプロスト/チモロールマレイン酸塩
	タブコム配合点眼液		タブフロスト/チモロールマレイン酸塩
	タブロス点眼液0.0015%		タブフロスト
	ルミガン点眼液0.03%		ピマトプロスト
本剤がコンタクトレンズに付着する可能性があるため、投与時使用中はコンタクトレンズの着用を避ける。	ゾビラックス眼軟膏3%	アシクロビル	
	アシクロビル眼軟膏3%「ニットー」		
	ビルレックス眼軟膏3%		

今回の事例で処方されたヒアルロン酸ナトリウムPF点眼液0.1%「日点」の製造メーカーである株式会社日本点眼薬研究所によると、PF点眼液は「一般的な5mL点眼容器と同等の使用感で、防腐剤を含まない製剤」で、コンタクトレンズの上から点眼できることを目的に開発された製剤ではなく、コンタクトレンズ装用時の点眼についてはレンズの種類（ハード、ソフト、交換日数、材質など）を問わず、基本的には外してから点眼することが推奨されています。しかし、防腐剤無添加の製剤をコンタクトレンズの上から点眼し、安全性を検討した文献もあり、処方医は、患者の眼の状態、レンズの種類や生活スタイル等を考慮して「コンタクトレンズを装用したまま点眼してよい」と指導している場合もあり、点眼剤交付時には、**処方された薬剤の防腐剤の有無、コンタクトレンズを使用しているか、装用時の点眼の可否についての医師の指示等を確認することが必要です。**

《参考資料》・調剤と情報2014.9 (Vol.20 No.10) ・薬局 2014 Vol.65, No.5  
 ・小玉裕司：ソフトコンタクトレンズ装用上におけるヒアルロン酸ナトリウム点眼液（ヒアルロン酸ナトリウムPF点眼液0.1%「日点」）の安全性、あたらしい眼科、29（5）、665-668（2012）